



校報

水糸者

No. 1311

元年度・第170号

3月2日の子ども達

この校報はホーム
ページ限定版です

3月2日の午後から「臨時休業」となる種小は、子ども達と「臨時休業」期間の宿題や家庭学習を含めた規則正しい生活の確認などに時間を割いていました。

全国の児童生徒が初めて体験する春休みではない「臨時休業」に戸惑いながらも子ども達は、今できる事とこれからやらなければいけないことを冷静に落ち着いて行っていました。



はまなす学級では、「卒業を祝う会」が行われていました。黒板いっぱいにメッセージが書き込まれていました。



臨時休業中の自分の計画を記入する種小っ子。学習道具を袋に片づけている種小っ子。ほとんどの子が無言で行っていました。



何1つ練習できないまま19日の卒業式を迎える6年生は、入・退場の確認を行っていました。



こんな日にもかかわらず、図書ボランティアさんがかけつけてくれて、放送室から全校に向けて読み聞かせをしてしてくれていました。

3月2日の種市小学校



1年生の教室では、今までの学習の成果を披露しあっていました。



休み時間には、いつも通りにみんなで楽しく遊ぶ種小っ子の姿。



思いがけず、3月2日が小学校生活最後の給食となった6年生は、はしゃいだり、急に静かになったり…。





学童での種小っ子の様子。「普通の日」の利用ではないことをしっかりと理解し、利用している様子が伝わってきました。



3月2日を境に、突然友達としばらく会えなくなってしまう子ども達。

3学期最後の授業日となった3月2日は友だちと語り合う姿、最後の学習をいつも以上に真剣に行う姿、校庭で思いっきり遊ぶ姿、いつまでも担任のそばを離れない姿…。「さみしい」、「もっと勉強がしたかった」、「友達と遊びたかった」といった声がほとんどで「家でゲームがやり放題！」などの声はほとんど聞かれませんでした。

現在どういう事が進行中で、状況によっては今度友達を会える日がいつになるのかが不透明であり、しばらく「がまん」しなければならない事が続く事だけは子どもなりに理解し覚悟をしているように感じました。

3月2日の姿だけでなく、3学期中の子ども達の姿からは、この1年の本校の歩みの正しさを証明する心と体、頭が耕かされた種小っ子の姿が多くありました。



手にたくさんの荷物を持ち、笑顔で下校して行った種小っ子。

【今後の見通し（予定）】

(1) 卒業証書授与式は、3月19日(木)の午後に行います。

ただし規模縮小での式となるため、来賓の列席を取りやめ、式次第は告示と祝辞、祝電披露などを取りやめ、卒業生と在校生の呼びかけをカットしたものとなります。来場者全てにマスクの着用を義務付けます。

(2) 修了式は、当初の予定通り3月19日(木)に行います。

ただし規模縮小での式となるため、修了証書授与を中心としての式となります。全児童マスクの着用となります。

(3) 離任式も、当初の予定通り3月24日(火)に行います。

児童からのお別れのことばを省く他、児童のアーチもなくするなどの簡素化と短縮化を図っての実施となります。全児童マスクの着用となります。

※学校の再開時期と条件は、現時点では全くの不明です。

間もなく始まる『春休み』も、今までの「臨時休業」と同じ扱いとなる可能性は極めて高いと予想しています。不要不急の外出を避け、19日に各担任から新たに出される学習課題を行う事となる見通しです。

※体調不良の子は、19日の登校は控えるようお願いいたします。

※24日の離任式は例年のとおり「登校日」ではなく「任意登校」となるので、体調不良の子の登校は控えるようお願いいたします。

※19日と24日にマスクがない子に限り、学校でマスクを準備します。

※19日のくわしい日程は、3月2日の文書をご覧ください。

24日の離任式の日程は、19日配付予定の文書をご覧ください。

なお、教職員の定期人事異動の新聞発表は、3月20日の予定です。

